
モンスターハンターポータブル ～異世界から来た太陽～

Mt.KOBURA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モンスターハンターポータブル ー 異世界から来た太陽 ー

【Nコード】

N9619Y

【作者名】

M t . K O B U R A

【あらすじ】

成績優秀、運動神経抜群の主人公が仲間と一緒に狩りまくるほのぼの？ストーリーです！

第1話：嵐の前の静けさ（前書き）

こんばんは!!

夜だけど、初投稿でテンション上がりまくり
のKOBURA
です!

今日が初投稿ですので駄文、文法が成り立っていないのであらかじめご了承ください

それでは、記念すべき第1話
始まり始まり!!

第1話：嵐の前の静けさ

Hello!! 俺は七海紅葉!! キラッキラの中学生だ!

……はあゝ、たりいゝ

このテンションマジできつい…

分かる?俺超燃え尽きてんの。

だって、朝からこのテンションつて…

でも、一つだけ熱心に取り組めるゲームがあるんだ!!

その名を“モンスターハンターポータブル”

俺がこれまで、やってきたゲームの中でも特に面白い!!って俺が絶賛するくらい面白い!!

???「おーい、紅葉〜!」

ちなみに今の声は俺の幼なじみでありながら、

モンハン仲間でもある“赤羽 栞”だ。

栞「紅葉!私やっとジンオウガ倒せたよ!!」

……朝からうるせえゝゝゝ(怒)

ちなみに今、会話にでたジンオウガってのは

モンハンに出てくる4足歩行で電気を操るモンスターね(誰に説明してんだ?俺!?)

…つーかジンオウガなんてとつくに倒してるし…

栞「ねえ、紅葉、聞いている!？」

紅葉「ああ、聞いている聞いている？」

栞「何そのは「おーい、おっふたゝりさゝん!」ん?あつ!!良と蓮」

今、会話にでた良と蓮も俺の幼なじみでモンハン仲間。

「ねえねえ、聞いて!!私やっとジンオウガ倒せたよ!!」

良「おお、よかったじゃん!!」

蓮「…遅くね？」

栞「む！しょうがないじゃん！もともとああ

いうゲーム苦手だし！」

紅葉「…苦手ならやんなよ…」

栞「えー！だって、みんなと話が合わないの

嫌だし」

面倒くさい性格…

良「なーなー、そんなことよりさ、歩きながら

でいいから、モンハンやろうぜ！」

栞「あ！私も！私も！」

蓮「俺も！」

良「紅葉は？」

紅葉「やる…。」

こうして俺たちは学校に行くまでモンハンをやることになったんだけど……まさかあんなことになるとは今の俺たちじゃ予想すらつかなかった……

第1話・嵐の前の静けさ（後書き）

どうでしょうか！？

感想などお待ちしております。

謎の黒い穴（前書き）

こんばんは〜

テンション高いうちに2話目投稿です。

まあ、こんなにテンションが高いのは、今日でテストが終了だから

（こんなときに勉強せずに執筆している私はダメ人間　テヘツ）

まあ、テストの話はこんくらいにして

それでは第2話　「謎の黒い穴」

始まり始まり〜

謎の黒い穴

みんなで歩いて10分 やっと学校が見えてきた
グレーの校舎 校庭には朝練が終わって燃え尽きている生徒たち
あれが俺たちの通っている私立名秋学園（ちなみに県内で一番頭の
いい学校だって 自慢じゃねえぞ^^）

さて、おそらく校門には…いた 源田だ…

あつ、源田っていうのは、生徒指導の先生で

名秋学園では生徒に一番嫌われている先生ね

（最近俺、誰に説明してんだ？）

紅葉「おい、お前ら 源田がいるから、そろそろ…」

俺が言いかけた瞬間、キーンと耳鳴りのような音が聞こえて
きた。

紅葉「なんだこの音？耳鳴り？」

良「紅葉、お前も聞こえるのか？」

紅葉「え！？お前も！？」

蓮「俺も聞こえるぞ」

栞「私毛」

紅葉「周りの様子を見る限り、耳鳴りは俺たちだけみたいだな。」

良「ああ。でも、なんで…？」

良が言い終わった瞬間、耳鳴りが急に止まった…

蓮「あれ？止ま…」

その時、突然ギョオオオオと変な音があった。

良「な、なんだこりゃ！？」

紅葉「（一体、どうなってやがる…？）」「

バコッ

容器を潰したような音が聞こえた瞬間、校門に突然黒い穴が出現した。

良「うわっ!!」

蓮「なんだ、ありゃ!？」

栞「ど、どうなってんの!？」

紅葉「周りの奴等は気づいてねえみたいだな…」

紅葉が言い終えたあと、突然4人の身体が光始めた

良「なっ!？」

蓮「う、うわ!？」

栞「きゃあ!!なにこれ!？」

紅葉「まだ、誰も気づかぬえのか!？」

そう、まだ誰も紅葉たちの異変には気づいていない。

その時、4人の身体が一際強い光を発した瞬間、突然4人の姿が消えてしまった。

しかし、そのことに気づくものは、誰1人としていなかった……。

謎の黒い穴（後書き）

どうでしたか？

感想などよろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9619y/>

モンスターハンターポータブル ～異世界から来た太陽～

2011年11月29日00時46分発行